



# 全議案を原案可決

今回可決された議案のうち、平成23年度土浦市一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億7千324万3千円を追加し、総額を51億5千331万6千円とするものです。

歳入については、使用料及び手数料や国、県の支出金、新たに寄付のあった災害復旧寄付金等の計上であります。

歳出の主なものは、東日本大震災での経験を受けての防災用井戸整備工事費の計上をはじめ、学校施設の耐震化の早期完了に向けた耐震詳細調査業務委託料の増額、都市計画マスタープラン策定のための都市計画基礎調査業務委託料等のほか、土浦市介護保険特別会計補正予算、川口運動公園野球場スコアボード設置工事請負契約締結などが原案どおり可決されました。

また、議員から提出された土浦市議会委員会条例の一部改正、土浦協同病院移転対策調査特別委員会の設置、教育予算の拡充を求める意見書及び学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求め

る意見書についても、原案どおり可決されました。

平成22年度土浦市歳入歳出決算と水道事業会計決算の認定については、決算特別委員会を設置し、閉会中に審査することになりました。

最終日には、人事案件として、人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

## 受理番号17

「行財政視察旅行」の当中中止と、費用を被災者救済への補助に充てることについての陳情の委員長報告

本市議会では、東日本大震災の発生から半年が経過しましたが、その復旧・復興に向けて、執行部と一丸となって取り組んでまいりました。

こうした中、最近は、国、地方を問わず、我が国の地域経済を活性化し、被災地を元気にしようという取り組みが活発になっております。

また、これまで、本市議会は行財政視察を実施し、現地視察等を行い、住民や関係者との意見交換を通しながら、先進事例の取り組みや、電子情報では得られない関係者の

努力を肌で感じ取り、本市の市政に大きく反映させているところであります。

その成果は、一般質問等において政策提言として具現化され、そのことがひいては市民福祉の増進に繋がっております。

具体的には、本年第二回臨時会において、東日本大震災で被害を受けた市民の家屋等の一部損壊への助成措置を求める意見書を議員提出議案として可決した例があります。

よって、本陳情の願意は認められず、全会一致により、不採択とすべきものと決しました。

## ◆決算特別委員会

- 委員長 柏村 忠志
- 副委員長 藤川 富雄
- 委員 平石 勝司
- 白戸 優子
- 入江勇起夫
- 井坂 正典
- 吉田千鶴子
- 久松 猛

## ◆人権擁護委員候補者

- 今高 博子 氏
- 池田 憲男 氏
- 三輪 和夫 氏
- 古市みどり 氏
- 石毛 一美 氏
- 山根 幸美 氏

# 永年在職議員表彰

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会より、永年在職議員として4名の議員が表彰され、9月6日の定例会初日、議場において表彰状が伝達されました。

## ◆全国市議会議長会

【議員在職20年以上】

- 内田 卓男

## ◆茨城県市議会議長会

【議員在職8年以上】

- 川原場 明 郎
- 海老原 一 郎
- 井坂 正 典



左から井坂議員・川原場議員・内田議員・海老原議員

次回の定例会の日程は、12月6日～12月20日（一般質問は12日・13日・14日）の予定です。